

## 授業科目 評価学演習Ⅰ

【担当教員名】 古西 勇、小林 量作、亀尾 徹 渡辺 恵子、粟生田 博子 他		対象学年 2	対象学科 理学
		開講時期 前期	必修選択 必修
		単位数 2	時間数 60 (基本評価A : 20)
【カリキュラムポリシーとの関連性】			
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度
○	◎	○	◎
【概要・一般目標 : GI0】 専門基礎分野で修得したことを基礎として、各種検査測定法の応用に慣れ、代表的な領域(骨関節疾患や中枢神経障害など)を想定した検査測定評価の「思考」と「技術」を修得する。			
【学習目標】 1. 患者さんへの配慮、全身状態・局所所見の把握の流れを模倣する。 2. バイタルサイン測定の手順に慣れる。 3. 形態測定、関節可動域測定、神経診察、バランス検査の手順に慣れる。 4. 医療記録を模倣する。 5. 学生間で学びあいながら自主的、計画的に共同作業に取り組む。 6. 疾患別の評価への応用を模倣する。			
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	患者さんへの配慮、全身状態・局所所見	1, 4, 5	演習(グループ)、担当: 粟生田 博子
2	バイタルサイン測定	2, 4, 5	演習(グループ)、担当: 粟生田 博子
3	ランドマークの触診、形態測定	3, 4, 5	演習(グループ)、担当: 古西 勇
4	反射検査	3, 4, 5	演習(グループ)、担当: 古西 勇
5	感覚検査	3, 4, 5	演習(グループ)、担当: 古西 勇
6	脳神経の各検査	3, 4, 5	演習(グループ)、担当: 古西 勇
7	関節可動域測定(ROM-T) 上肢	3, 4, 5	演習(グループ)、担当: 古西 勇
8	関節可動域測定(ROM-T) 下肢	3, 4, 5	演習(グループ)、担当: 古西 勇
9	バランス検査	3, 4, 5	演習(グループ)、担当: 粟生田 博子
10	臨床でのバランス検査の応用	3, 4, 5, 6	演習(グループ)、担当: 粟生田 博子
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	診察と手技がみえる vol.1 第2版	編集 古谷伸之	メディックメディア 2007・6,300円
	PT・OTのための測定評価(DVD Series 1) ROM測定(第2版)	福田修、伊藤俊一、星文彦 他	三輪書店 2010・3,800円+税
	シンプル理学療法学シリーズ 理学療法評価学テキスト	細田多穂(監修)、星文彦(編集)、伊藤俊一(編集) 他	南江堂 2010・5,700円+税
参考書	理学療法評価学 第2版	松澤正	金原出版 2004・6,510円
	ベッドサイド神経の診かた第16版	田崎義昭 他	南山堂 2004・7,560円
その他の資料			
【評価方法】 出席、毎回の提出物、実技試験、定期試験(筆記)、その他。	【履修上の留意点】 4月の2年次前期専門専攻科目の授業オリエンテーションで、クラス・グループとスケジュール、授業を受ける際の服装などの注意事項を説明する。打鍵器と関節角度計、いくつかの小物(安全ピン、つまようじ、筆、ゼムクリップ、メジャーなど)を自分で購入・準備してもらう。		